

イリアスルーム

長いものが自由に織れる

最長 3m、巾 10 (20) cm まで



¥4,800



縫い目の無い長い袋物も織れる。織り方は P.3



イリアスルーム自由自在・・・たて糸を張る前に、まず、次の3つの前準備

1、柱を起こす、
ヒモを通す穴にひも
を通して張り、結ん
で固定する。後でた
て糸の張りをゆるめ
る時に何回か解いて
ゆるめるので、解き
易く結んでおく。

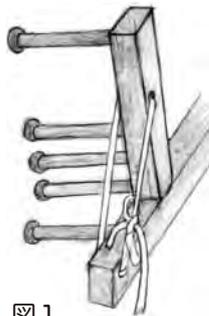
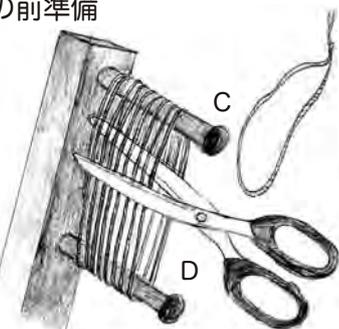


図1

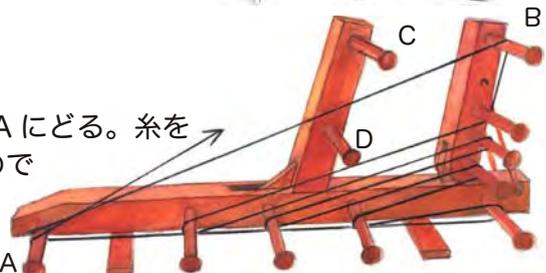
2、糸そうこうを作る。

右下図の棒 C と D にたこ糸など丈夫な糸（染色綿糸が良い）を右図のように巻いて切る。それを1本ずつ輪に結ぶとちょうど良い長さの糸そうこうになる。たて糸の総数の半分が必要数。後で何度でも使えるので、多めに作っておいても良い。



3、たて糸の長さとお本数を決める。

A から B を通って右図のように必要な長さだけ棒を選び迂回して A にどる。糸を試しに棒にかけてみて、外して測って決めよう。織り進むと縮むのでたて糸は 20 ～ 25 センチ長めに張っておく。たて糸の本数（巾と密度）の増減は自由に出来るので、試し織りして決めるのが良い。

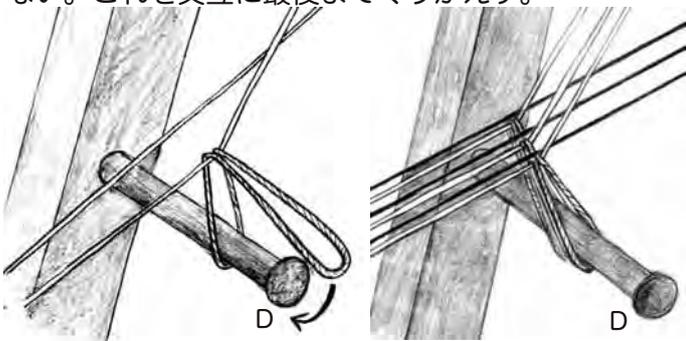


たて糸を張る

棒 A に糸をかける結び B へ直行。B から前準備3で決めた長さ分の棒を迂回して A にもどる。2本目のたて糸は棒 C を通って B へ向かう。

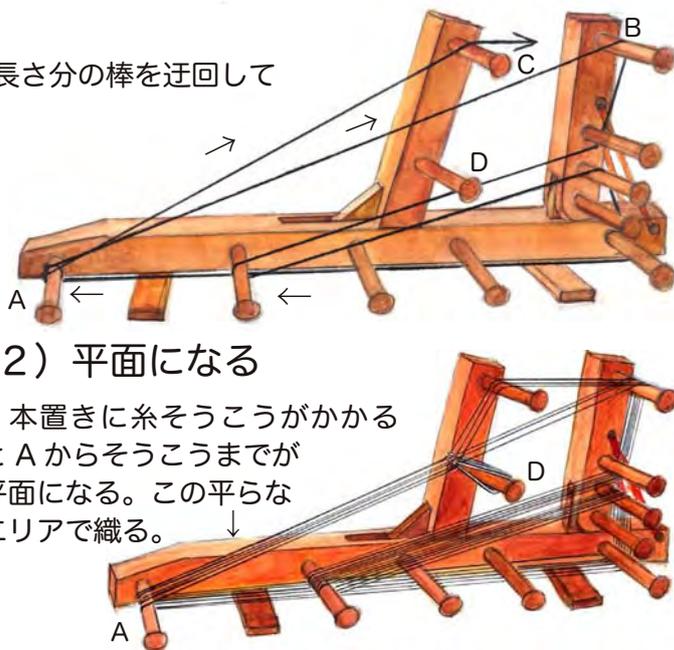
(1) 1本おきに糸そうこうをかける

下図のようにこの C を通る糸には輪になった糸そうこうをかけて引き下ろして棒 D にかける。次のたて糸は B へ直行するので、これには糸そうこうはかけない。これを交互に最後までくりかえす。



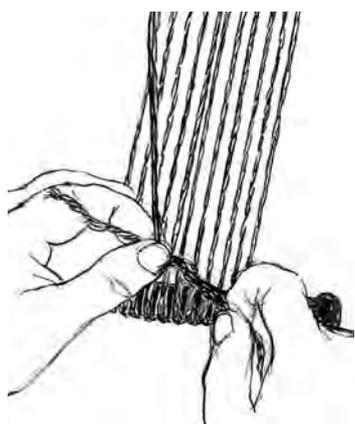
(2) 平面になる

1本置きに糸そうこうがかかると A からそうこうまでが平面になる。この平らなエリアで織る。



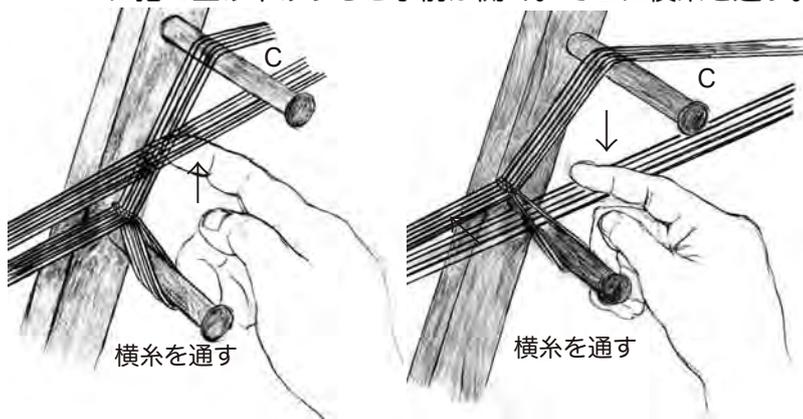
(3) 最初と最後の糸を結ぶ

たて糸を張り終えた最後の糸は、最初の糸と結ぶ。最初の糸は棒 A から解いて結ぶこと。これでたて糸が輪になり棒から自由になるので全体をずらしながら織り進む事が出来るようになる。



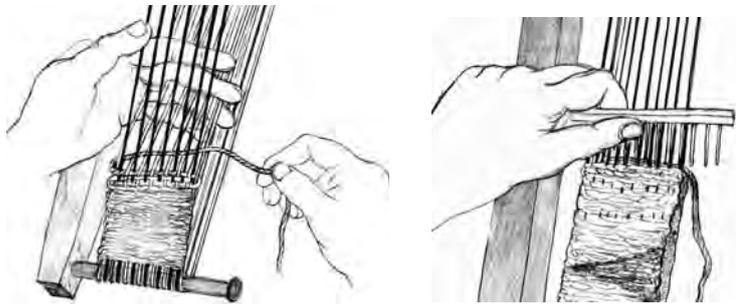
(4) たて糸を上下に開くには

糸そうこうで固定されているたて糸は上下しない。自由に上下するたて糸を棒 C の下あたりを、下図のように指で上げ下げすると手前が開く。そこに横糸を通す。



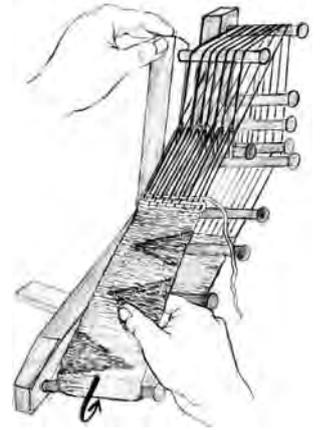
織る

横糸を通すのはタペストリーポピン、16cmの板ひ、木針（模様や筒織りに良い）などが便利。下図のように手も使って打ち込みにはクシ、フォークなどの身近な物をさがして使おう。



ゆるめて織り位置をずらす

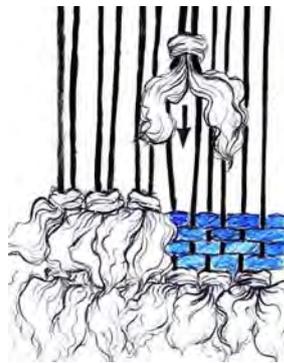
織り進んで糸そうこうに近づいて横糸を通しにくくなったら、たて糸の張りを充分ゆるめて全体を手前に引いてずり下ろす。張りをゆるめるのは最初に柱を起こして結んだヒモ（図1）を解いて、柱を手前にねかせるとゆるむ。



自由な織りのヒント



羊毛の房で立体図案 じゅうたんを織るノッティングという技法。羊毛の房を右図のようにたて糸2本を房を抱いて中を割って下から房の両端を引き出す。1段出来たら横糸を通し平織り2～5段ていど織る。好みで羊毛に限らず長いものなら何でも余った糸、古い毛糸など。また、長くたらず。ハサミで刈り込む。など、とても自由な表現が可能です。



ネクタイなど、織り巾と厚みは自由、横糸を太くしたり細くしたりはもちろん、横糸の引き加減、打ち込みの強さ加減で、大きな変化が得られます。

縫い目なしの長い袋もの



ボタン穴やベルト穴など、たて穴は自由に開きます。

裂き布を横糸に使うって



糸そうこうは使わない。前ページ（1）の図、たて糸を棒AからCへ、次に棒AからBへと交互に張り進む。と、最後にはCへ行く上グループとBへの下グループと、まるで二枚のたて糸が上下に張られたようになる。横糸を通す時上面だけ木針などで一本おきにすくって平織りに進み、端まで行ったら下グループに回って同様に平織りを続ける。横糸は再び上に回り、結果らせん状に横糸は進み筒状になる。3mまで筒に織れる手軽なまたは珍しい。一方の端で回さずに戻して織り進めば筒が開いた状態、二倍20cmの中まで織れる。



筒の太さも横糸の引きで自由に变化

イリアスルーム ¥4,800



インドの丈夫な木、折りたたみ



板ひ 16cm



¥210

木の針は細かい模様や筒状に織る時に便利。細は先が針状、太は平ら、長は横糸を通した後かるく打ち込みができます。約10~11cm



木の針

太 ¥300

細 ¥300



長 ¥380

タペストリーポビン

細が使いやすい。太は

横糸が大量に巻ける



細 ¥420



太 ¥480

糸、素材...他にもたくさんあります。糸見本全種綴り¥300、カタログご請求下さい。又はご来店下さい。

ジェラードの毛糸

NZのジェラード氏製、柔らかい新鮮なウール100%でアナンダが特注しました。

白 ライト ミディアム ダーク
1玉 ¥830/100g
1かせ ¥790/100g
(1かせ約500g~600g)



ジュートヤーン

太(7色) ¥220/100g
細(6色) ¥220/100g
1巻500g前後

インドの羊の毛糸

¥250/100g 白 ベージュ 薄茶 灰茶 黒茶・表紙右上写真の横糸・1玉50g~100g、とてもあまよりなので切れ易い。横糸のみ、または、よりかけをして使うと良い。ザラツとした良い触感あり。日本では珍しい。



ラグ用綿糸
太さ4種¥500/巻



染色綿糸
全10色
¥360/巻
生成りのみ
¥340/巻
丈夫でたて糸にお勧め

綿糸、麻糸



カディー糸(インド手紡ぎ糸、8の字かせ)
¥220/100g

茶綿糸(タイの手紡ぎ糸、かせ毎に色の差が多少あります)
¥400/100g

麻糸(タイの大麻)
¥520/100g

強撚カディー糸E
¥190/100g

強撚カディー糸F
¥220/100g



シルク糸



タイ手紡シルク糸
¥1,200/100g
フェスワ(インド)
¥980/100g
プラウ(インド)
¥1,170/100g
インドシルクノイル
¥920/100g

以下全部インド産
チャッカカティア
¥1,130/100g
ギッチャビハール
¥1,100/100g
ギッチャ
¥1,120/100g
アサツムカティア
¥1,170/100g

クラフトヤーン



NZのラグ工場の残糸、多少かためのウールです
細 ¥2,200/kg
太 ¥2,200/kg
約100gの玉巻き済み
1個 ¥250

綿糸、シルク糸などは、かせ単位の販売になっています。ご注文の量と多少前後します。ご了承ください。



紡ぎ車と世界の原毛
アナンダ

ご注文、お問い合わせは電話、FAX、メールでどうぞ。

山梨本店

〒408-0033 山梨県北杜市長坂町白井沢2995

TEL.0551-32-4215 FAX.0551-32-4830

ホームページ <http://www.ananda.jp> メール wool@ananda.jp